

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0021

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

事業名	美術品DXによる管理適正化・市場活性化推進事業			担当部局	文化庁			作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定) 年度	令和8年度	担当課室	文化経済・国際課			課長 寺本 恒昌	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法 第15条			関係する 計画、通知等	成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日閣議決定) 文化芸術推進基本計画—文化芸術の「多様な価値」を活かして、未来をつくる—(第1期)(平成30年3月6日閣議決定) 文化経済戦略(平成29年12月27日内閣官房・文化庁)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション、観光立国、クールジャパン、知的財産			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国が誇る有力な美術品を「ナショナル・コレクション」として国内外に発信すべく、美術館・博物館における管理の徹底及び民間に所在する美術品の捕捉をDXを通して実現する。まず、美術品・文化財の管理を標準化し、全国主要な美術館と民間(個人コレクター、企業等)が保有する美術品のうち、真に重要なものをICタグ等で分散管理。その情報を一元的に取得するシステムを開発することで、美術品情報の提供、管理の適正化を図る。あわせて、美術品のトレーサビリティの確保による取引の透明性の向上を図り、より活発な取引市場を作り出すことも目指す。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国内美術館・博物館のドキュメンテーション(コレクションの情報記録方法)を明確化して標準化し、標準化された方法に則り、既存システムと連携して、ブロックチェーンを活用して、美術館・博物館の収蔵品の管理を標準的な方法で一律に実現し、我が国の美術館・博物館が保有する収蔵品の見える化を促す。同時に、市場や民間(コレクターや倉庫、運送会社等)にも同様の仕組みを導入して、美術品・文化財の流通情報の標準化による流通促進を図る。								
実施方法	委託・請負、補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
		当初予算	-	-	-	44			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	0	0	0	44	0			
	執行額	0	0	0					
執行率(%)	-	-	-						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	文化芸術振興委託費	44							
	計	44	0						
活動内容 (アクティビティ)	我が国美術館・博物館における収蔵品情報の取り扱い方法の標準化を進める。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	国内美術館・博物館の収蔵品取り扱い方法を標準化する。	コレクション取り扱い方法の標準化件数	活動実績		-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	委託契約額の合計/委託件数			単位当たり コスト	百万円	-	-	-	44
				計算式	委託額/委託件数	-	-	-	44/1
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 8 年度
	日本国内のアート市場規模	日本国内のアート市場の取引高を世界第4位のフランス(2019年約4,200億円)に次ぐ規模に引き上げる	成果実績	億円	2,580	2,363	2,186	-	-
			目標値	億円				-	4,000
			達成度	%				-	-

根拠として用いた統計・データ名 (出典)	エーアート・芸術と創造「日本のアート産業に関する市場調査」								
活動内容 (アクティビティ)	標準化された仕組みを活用したICタグとブロックチェーンの紐づけを実施し、美術品の流通の促進を図る。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	美術品におけるICタグとブロックチェーンの紐づけを推進する。	タグ付けされた美術品の公開件数	活動実績		-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	1,000	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 8 年度
	国内ミュージアムが保有するコレクションの貸与の増加	タグ付けされた美術品の貸与件数の増加	成果実績		-	-	-		
			目標値		-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	事業結果								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	我が国の美術館・博物館は購入予算ゼロが60.5%、収蔵庫がほぼ満杯が33.9%、オンラインで収蔵品を公開しているのが24.8%であり、DXによる業務改善、収蔵品の相互貸借による活性化は必要不可欠である。また、市場においても取引履歴が明確になることは、取引の信頼性を高め、市場を活性化することに貢献すると考える。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国全体の標準化は一美術館や地方自治体で行えるものではなく、政府の関与が必須である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	標準化、DX化という業務効率化を比較させる手法を活用しており、成長戦略等、政府の重要な戦略に位置付けられている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	競争性を担保した形での企画競争を予定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果		
	改善の方向性		

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の実施状況等を踏まえ、適切なアウトカムの設定について不断の見直しを図ること。  
引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

事業の着実な実施及び適切な予算執行に努める。

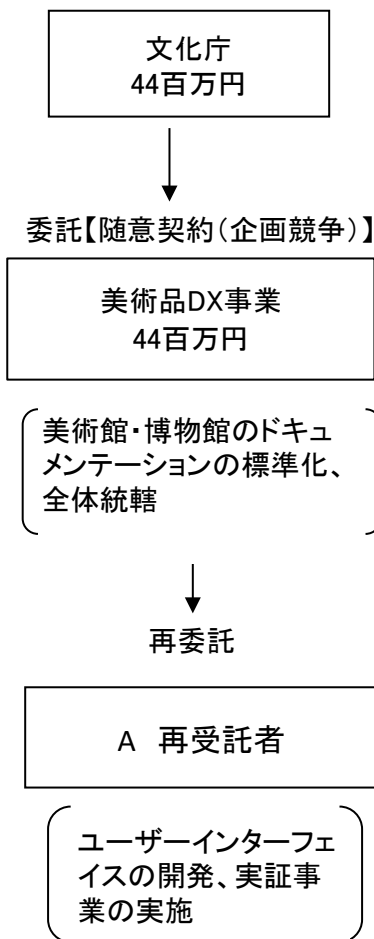
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度	文部科学省 -			
令和2年度	文部科学省			
令和3年度	2021 文科 新22 0033			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と用途の 双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	-	-	-	-	-	-
計			0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	-	-	-	-	-		-	-	